

Q まぶたが重く、目が開きづらいのですが病気でしょうか？

回答：市立貝塚病院

形成外科 副部長 望月祐一医師



A 正面を向いている状態でまぶたが瞳（黒目）の上まで上げられない状態のことを「眼瞼下垂」といいます。黒目にまぶたが被さると視野が狭くなり、重症化すると転倒や自動車事故の原因となる可能性もあります。自覚症状としては「まぶたが重く、目が開きづらい」「周りの見えにくい」などで、整容面では「眼そのうにみえる」「おでこのシワが太くなる」などがあります。上げにくいまぶたを一生懸命上げようとすることで交感神経が常に緊張し、頭痛や肩こり、自律神経失調症の原因になることもあります。

眼瞼下垂は、①先天性眼瞼下垂 ②後天性眼瞼下垂 ③偽眼瞼下垂の3つに分類されます。

先天性眼瞼下垂とは「生まれつきまぶたが下がっている状態」で、まぶたの筋肉（眼瞼挙筋）や筋肉を動かす神経（動

「眼瞼下垂」保険診療で多様な治療が可能

眼神経）の発達異常などで、整容面では「眼そのうにみえる」「おでこのシワが太くなる」などがあります。

後天性眼瞼下垂とは「もともと普通に開いていたまぶたが徐々に開かなくなってきた状態」で、神経系疾患が原因の場合もあります。

多くは眼瞼挙筋とまぶたをつな

っている腱挙筋腱膜が緩

むことが原因だと考えられて

います。加齢によるものが最も多く、ハードコンタクトレンズの長期使用や白内障手術の後に生じることもあります。

偽眼瞼下垂とは筋肉や腱には異常が無く、まぶたの皮膚がたるんで視野が遮られている状態で、それぞれ手術方法は異なりますが保険診療も可能です。眼が開きづらい事で日常の生活が辛くなっているものの、原因が分からず我慢されている方も多いと思います。このような症状が思い当りましたら形成外科の受診をお勧めいたします。

問 072・4226・5805

市立貝塚病院

(貝塚市堀3-10-20)

http://www.hosp.katizuka.osaka.jp/

